

製造業における職長の能力向上教育の「実行カリキュラム」の具体例

I 基本項目（必須）の時間配分の具体例

項目名	時間配分
(A1) 職長の役割と職務	15分
(A2) 製造業における労働災害の動向	10分
(A3) 「リスク」の基本的考え方を踏まえた職長として行うべき労働災害防止活動	25分
(A4) 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置	25分
(A5) 異常時等における措置	10分
(A6) 部下に対する指導力の向上（リーダーシップなど）	25分
(A7) 関係法令に係る改正の動向	10分
合計	120分

II 実行カリキュラムの時間配分の具体例

1 講義重点型

項目名	時間配分
(1) 職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	240分
A 基本項目（必須）	120分
B 専門項目（選択）	120分
(2) グループ演習	120分
合計	360分

2 グループ演習重点型

項目名	時間配分
(1) 職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	120分
A 基本項目（必須）	120分
B 専門項目（選択）	0分
(2) グループ演習	240分
合計	360分

3 講義・グループ演習の均等配分型

項目名	時間配分
(1) 職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	180分
A 基本項目（必須）	120分
B 専門項目（選択）	60分
(2) グループ演習	180分
合計	360分

Ⅲ 実行カリキュラムの具体例

1 労働災害防止活動コース

【教育目標】：生産現場における労働災害防止活動を中核となって推進することのできる職長を育てる。

科目	範囲	時間
(1)職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	A 基本項目 (必須)	120分
	B 専門項目 (選択) (注1)	
	(B1-1) 安全衛生実行計画の作成・実施	30分
	(B1-2) 職場巡視	20分
	(B1-3) 危険予知訓練 (KYT)	30分
	(B1-4) ヒヤリ・ハット活動	20分
	(B1-5) 4S (5S) 活動	20分
	<小計 (A+B)>	(小計 120分) 240分
(2)グループ演習	C グループ演習 (注2)	
	(C1) 職長の職務を行うに当たっての課題	90分
	(C2-2-1) 安全衛生実行計画の作成・実施	90分
	<小計>	180分
合計		420分

(注1)「B1 事業場における安全衛生活動」を選択。

(注2)「C1 職長の職務を行うに当たっての課題」及び「C2 事業場における安全衛生活動 (危険予知訓練など)」の中の「C2-2-1 安全衛生実行計画の作成・実施」を選択。

2 危険予知訓練 (KYT) コース

【教育目標】：生産現場における危険の芽を摘む危険予知 (KY) 活動を中心となって推進することのできる職長を育てる。

科目	範囲	時間
(1)職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	A 基本項目 (必須)	120分
	B 専門項目 (選択) (注1)	
	(B1-3) 危険予知訓練 (KYT) (基礎4ラウンド法、ワンポイントKY等)	90分
	<小計 (A+B)>	210分
(2)グループ演習	C グループ演習 (注2)	
	(C2-1) 危険予知訓練 (KYT) (基礎4ラウンド法、ワンポイントKY等)	180分
合計		390分

(注1)「B1 事業場における安全衛生活動」の中の「B1-3 危険予知訓練 (KYT)」を選択。

(注2)「C2 事業場における安全衛生活動 (危険予知訓練など)」の中の「C2-1 危険予知訓練 (KYT)」を選択。

3-1 リスクアセスメント（基礎）コース

【教育目標】：リスクアセスメントに参画して、職場に潜む「危険源」を漏れなく特定するとともに、作業ルールの設定とその確実な遵守を促すことにより、残留リスクによる労働災害を防止できる職長を育てる。

科目	範囲	時間
(1)職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	A 基本項目（必須）	120分
	B 専門項目（選択）（注1）	90分
	（B1-8）リスクアセスメントの基礎	30分
	（B1-6）化学物質の管理とリスクアセスメント	（小計120分）
	<小計（A+B）>	240分
(2)グループ演習	C グループ演習（注2） （C3）危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置	120分
合計		360分

（注1）「B1 事業場における安全衛生活動」の中の「B1-8 その他の事業場における安全衛生活動」として位置付けられる「リスクアセスメントの基礎」及び「B1-6 化学物質の管理とリスクアセスメント」を選択。

（注2）「C3 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置」を選択。

（注3）2006年（平成18年）3月以前に就任した職長については、就任時の安全衛生教育の内容として、リスクアセスメントが含まれていないため、能力向上教育の実施に当たっては、「B 専門項目」として、リスクアセスメントについての基礎的な教育を行うことが望ましい。

3-2 リスクアセスメント（労働安全衛生マネジメントシステム）コース

【教育目標】：労働安全衛生マネジメントシステムを導入・実施するに当たって、生産現場においてマネジメントシステムを円滑に推進することができる職長を育てる。

科目	範囲	時間
(1)職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	A 基本項目（必須）	120分
	B 専門項目（選択）（注1）	60分
	（B2）労働安全衛生マネジメントシステムの仕組み	90分
	（B1-8）リスクアセスメントの基礎	（小計120分）
	<小計（A+B）>	240分
(2)グループ演習	C グループ演習（注2） （C3）危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置	120分
合計		390分

（注1）「B2 労働安全衛生マネジメントシステムの仕組み」及び「B1 事業場における安全衛生活動」の中の「B1-8 その他の事業場における安全衛生活動」として位置付けられる「リスクアセスメントの基礎」を選択。

（注2）「C3 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置」を選択。

4 部下に対する指導力向上コース

【教育目標】：部下に対する指導力のレベルアップを図ることにより、部下の安全を確保するための的確な指導を行うことができる職長を育てる。

科 目	範 囲	時 間
(1)職長として行うべき労働災害防止及び労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	A 基本項目（必須）	120分
	B 専門項目（選択）(注1) (B3) 部下に対する指導力の向上（コーチング、確認会話など）	60分
	<小 計 (A+B)>	180分
(2)グループ演習	C グループ演習（注2） (C4-1) リーダーシップ (C4-2) 確認会話	90分 90分
	<小 計>	180分
	合 計	360分

(注1)「B3 部下に対する指導力の向上（コーチング、確認会話など）」を選択。

(注2)「C4 部下に対する指導力の向上（リーダーシップ、確認会話など）」の中の「C4-1 リーダーシップ」及び「C4-2 確認会話」を選択。